

(別紙5)

整理番号 2018P-012
補助事業名 平成30年度 自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 日本自転車競技連盟

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を通じて国民の心身の安全な発達に寄与するとともに、豊かな人間性を涵養すること、かつ、自転車競技の普及促進と競技登録者数の増加を目的とし、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

自転車競技の普及拡大事業

国内競技大会の開催を下支えする重要な事業である。その内訳は広報宣伝、講習検定、会員増の為のシステム改修である。大会とこれらの事業は密接な関係にあり両輪となって実施する事で相乗効果をもたらす。

- ②自転車競技の普及・広報事業
- ③広報誌の発行



広報誌「シクリスムエコー」をリニューアルし、230号の発行を実施した。

(別紙5)

④登録者増進に係るシステム改修

平成 29 年度より整備をしたオンライン登録システムは更に改良を加え、利用者にとって利便性が向上し且つ定着をした。更には国際ライセンスもオンライン化を推進し UCI-ID の付与と明記を行った。

⑤広報（宣伝・現地報道対応）

<https://www.youtube.com/channel/UCVsb6vACyK4HSogFNbcWGEw>

無料動画サイト「YouTube」に JCF チャンネルを開設し、全日本選手権ハイライト動画のオンデマンド配信を行った。

⑥アンチ・ドーピング活動事業

本連盟ナショナルチーム対象の高度なアンチ・ドーピング講習会を下記のとおり実施した。

9月15日 9月15日 全日本選手権大会—BMX フリースタイル

岡山県 岡山市 BMX

11月25日 11月25日 日本学生自転車競技連盟チーム・コーチ研修会

東京 渋谷区 全種目

1月13日 1月13日 全日本実業団自転車競技連盟チームアテンド講習会

東京都 品川区 全種目

2月9日 2月9日 全日本実業団自転車競技連盟チームアテンド講習会

東京都 品川区 全種目

3月1日 3月1日 UCI MTB Coaching Course 1&2

千葉県 千葉市 MTB

3月10日 3月10日 大阪府自転車競技連盟チームアテンド講習会

東京都 江東区 全種目

9月15日	9月15日	全日本選手権大会—BMXフリースタイル	岡山県	岡山市	BMX
11月25日	11月25日	日本学生自転車競技連盟チーム・コーチ研修会	東京	渋谷区	全種目
1月13日	1月13日	全日本実業団自転車競技連盟チームアテンド講習会	東京都	品川区	全種目
2月9日	2月9日	全日本実業団自転車競技連盟チームアテンド講習会	東京都	品川区	全種目
3月1日	3月1日	UCI MTB Coaching Course 1&2	千葉県	千葉市	MTB
3月10日	3月10日	大阪府自転車競技連盟チームアテンド講習会	東京都	江東区	全種目

⑦ 東京オリンピックに向けた国際審判員養成・講習会開催

1. 国際的なコミッセールの育成

2018年8月15日～2018年8月19日スイス・エーグルにてトラックエリート ナショナル コミッセールコースに受講者を UCI へ推薦し派遣した。全講義終了後、筆記試験及び口述試験の結果4名のうち2名が合格した。

2018年9月9日～2018年9月12日マレーシアにて開催されたトラックエリー

(別紙5)

ト ナショナル コミッセールコースに受講者を、マレーシア連盟に推薦し派遣した。全講義終了後、筆記試験及び口述試験の結果1名が合格した。

2. 国内第1級審判員（ロード・トラック・シクロクロス）講習会

本年度については実技講習会のみ開催された。

合格者は以下の通り

ロード 1名

トラック 3名

シクロクロス 2名

⑧登録者安全講習会・コーチ講習会の開催



2 予想される事業実施効果

事前の計画からアンチ・ドーピング講習会は十分に実施できなかったが、連盟としてはロードナショナルチームへの正式な講習会が実施できた。広報、システム、各種講習会では直接的目的で掲げた、自転車競技全体の【底上げ】に大きく寄与できた。

これまでなかった、最新の事業や事業の大きな成果を生み出す事ができた。その結果

